

●サクラメント市との姉妹都市交流について

団員 松本 博和

令和5年11月20日から23日にグロリア・エスペホ会長をはじめとする17名の松山サクラメント姉妹都市協会（以下、サ協会と言う。）メンバーが新型コロナウイルス感染症の拡大以降初めて、5年ぶりに来松した。この時に開催された祝賀会に出席し、平成30年度の海外都市行政視察のサクラメント市訪問時に大変お世話になった水島富幸子副会長並びにサ協会メンバーとの再会を果たした。久しぶりの再会で話に花が咲き、充実した交流を行うことができ、1月のサクラメント市での再会を誓い合った。



（ローラさんからハナミラインの説明）

令和6年1月21日にサクラメント市に到着し、はじめに開発中の桜並木の整備がされる区画、通称

「Hanami Line(ハナミライン)」を見学した。まだ開発途中で桜の木等を確認することはできなかったが、松山側から桜の木の寄贈も行われており、どの桜が誰

からの寄贈ということがホームページで分かるようになる予定との説明を受け、松山市で暮らしながらサクラメント市との交流を確認することができる取組みがとても良いと感じた。完成後は、毎春に“お花見”をしている風景がサクラ

メント市でも見られるようになる
と想像すると、今から胸が高鳴る
気持ちになった。完成した暁には、
桜の季節に“お花見”をするために
再び訪れたいと思う。



(工事の様子)

その後、サ協会の皆さんとの交
流夕食会を開催していただいた。

グロリア・エスペホ会長をはじめ、サクラメント市議会のリック・ジェニングズ議員や協会員など約40名の皆さんからの心温まるおもてなしを受けた。交流の際は通訳を通じての会話だけでなく、知っている英語やボディラングージ等を駆使しながら、交流を行えた。令和5年11月以来2カ月ぶりに再会した



(夕食会の様子)

人、初めてお会いした人がいたが、11月の来松時に交流を行っていたことも相まって、より良いコミュニケーションを行うことができたと思う。姉妹都市提携45周年の際に松山市及びサクラメント市で再び会うことを約束した。

翌日の1月22日は、サクラメント市役所を表敬訪問し、姉妹都市担当のミンディーさんからの説明を受けた後、市議会の議場を見学することができた。サクラメント市議会は、市全体で8地区それぞれの地区に議員は1人という仕組みになっており、その8人の中に副市長も含まれるとのことであった。

リック・ジェニングズ議員に出迎えていただき、議場で議席に座らせていた

だき、サクラメント市議会場での空気を感じながら終始和やかな雰囲気の中で意見交換などを行った。

今回の視察を終えて、サクラメント市の滞在は、1日半と短い時間であったが、サ協会の皆さんとの交流や今回の行程の手配や当日対応に



(市議会議場での意見交換)

ご尽力いただいた関係者各位に感謝の意を表すとともに、今後の姉妹都市交流がより一層活発になり末永く続くことを願い、私の視察報告とする。